

学校評価アンケート結果からの分析・考察

1 実施期間 令和3年1月7日～15日

2 アンケート対象・回答数

児童 4～6年児童 360名

保護者 全家庭 699名

教師 35名

3 アンケート結果からの分析・考察（裏面グラフ参照）

(1) 目標に迫ることがおおむねできている項目

ア 教師・保護者・児童が、ともに肯定的な意見が多い項目

（「よく当てはまる」「やや当てはまる」のしめる割合が三者とも8割を超える）

- ③基礎・基本を押さえた分かりやすい授業をしている
- ④児童をよく理解して対応している
- ⑤子どもを差別することなく、いつも広い心で接している。
- ⑥電話や来校時に親切に対応している
- ⑦子どもたちは楽しく登校している
- ⑨子どもたちは好ましい友人関係を築いている
- ⑮学校の様子をお便りやホームページでよく伝えている。

* 教師・保護者の二者しか回答がないが、ともに肯定的な意見が多い項目

（「よく当てはまる」「やや当てはまる」のしめる割合が二者とも8割を超える）

- ⑯家庭との意思疎通を積極的にきめ細かく行っている
- ⑰保護者の悩みや相談に親身になって対応してくれている

イ 教師・保護者・児童が、ともに肯定的な意見が多目（7割以上）の項目

（「よく当てはまる」「やや当てはまる」のしめる割合が三者とも7割を超える）

- ⑧子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいる
- ⑫規則正しい生活リズムに心がけ、健康的な生活を送っている。
- ⑱危険箇所や不審者対応等の配慮がなされ、安全である

(2) さらなる努力や工夫が望まれる項目

教師・保護者・児童の三者のうち、一者もしくは二者の肯定的な意見が少なめ（7割を超えない）の項目

- ⑩明るく元気のよいあいさつができている
- ⑪交通安全に心がけ命を大切に落ち着いた生活を送っている
- ⑲子どもたちは進んで読書活動に取り組んでいる

⑭歌うことが好きで、楽しく合唱している。

⑰学校の施設設備は充実していて、環境が整っている

⑳学校での出来事を話題にして親子でよく話している

* 教師・保護者の二者しか回答がないが、二者のうち一者、または二者が肯定的な意見が少ない（7割を超えない）

㉑学校生活に必要な基本的な生活習慣を大切にしている

本校では、自他の良さを認め合い、仲良く学び合う児童の育成を願って教育活動を進めています。アンケートの結果から、「子どもをよく理解し、真剣に対応している」、「子どもを差別することなく接している」、「子どもたちは楽しく登校している」、「子どもたちは好ましい友人関係を築いている」等の項目で、肯定的にとらえている保護者・児童が多く、特に「分かりやすい授業」は昨年度に引き続き9割以上の保護者・児童・教師が、肯定的にとらえられています。

来年度は、「イキイキ ノビノビ キビキビ みんななかよく 楽しい学校」の実現に向け、

⑩ 明るく元気なあいさつ、⑪ 交通安全に心がけ命を大切に落ち着いた生活の定着、

⑬ 自主的な読書活動、等に、なお一層の努力を注いでいきたいと考えております。

その他、甚目寺東小学校をよりよくするためのご意見をいただきました。「自由記述～保護者の声より」に関しては、後日あらためて、プリントを配付させていただきます。

アンケートの各項目について「よく当てはまる」「やや当てはまる」の肯定的な意見の占める割合

